



## 2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク  
コード番号 7614

上場取引所 東  
URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一  
四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —

TEL 03 (5405) 9541

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年1月期第2四半期の連結業績 (2019年2月1日～2019年7月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	14,539	△1.4	421	△18.7	504	△5.5	328	19.8
2019年1月期第2四半期	14,751	△2.6	518	△18.0	533	△42.6	274	△54.2

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 285百万円 (△9.0%) 2019年1月期第2四半期 313百万円 (△49.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	48.68	—
2019年1月期第2四半期	40.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年1月期第2四半期	16,286	12,926	79.4	1,914.70
2019年1月期	16,069	12,802	79.7	1,896.40

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 12,926百万円 2019年1月期 12,802百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年1月期	—	0.00	—	—	—
2020年1月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年1月期の連結業績予想 (2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,610	0.7	1,420	7.2	1,460	4.7	810	2.6	119.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期2Q	7,335,634株	2019年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	584,453株	2019年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期2Q	6,751,181株	2019年1月期2Q	6,751,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資など停滞感があるものの、雇用や所得環境の改善等、緩やかな回復基調が続いています。また、世界経済におきましては、米中貿易摩擦問題による中国経済の先行き鈍化や、英国のEU離脱問題の不安定な国際政治情勢など、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、個人消費は緩やかに持ち直しているものの、お客様の節約・低価格志向は依然として根強く、食の安心・安全に対する社会的関心の高まりの他、物流費の増加や資材価格や人件費の高止まり、人口構造の変化による採用難の状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上高増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むと共に、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。小売部門においては、新業態の店舗にも挑戦した他、継続的にイベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を実施し、また従業員の知識、技術向上による商品及び接客レベル改善を目指し、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。外食事業にあってはステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高145億39百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は4億21百万円（同18.7%減）、経常利益は5億4百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益31百万円の計上などにより3億28百万円（同19.8%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

#### 「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間の開店は3店、閉店は惣菜店の精肉店への統合を含め11店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は146店になりました。内訳は食肉小売店127店（前期末比1店増）、惣菜小売店19店（同9店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は104億97百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は4億23百万円（同21.2%減）となりました。

#### 「外食業」

当第2四半期連結累計期間の開店は1店、閉店は3店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は48店になりました。売上高につきまして、共同の大型出店した新店の牽引等により41億10百万円（前年同期比3.7%増）となりました。営業利益につきましても、1億58百万円（同18.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	102億82百万円（前期末比+2.2%）
固定資産	60億3百万円（同△0.0%）
総資産	162億86百万円（同+1.3%）
流動負債	29億12百万円（同+3.1%）
固定負債	4億47百万円（同+1.4%）
純資産	129億26百万円（同+1.0%）
負債・純資産合計	162億86百万円（同+1.3%）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の連結業績予想につきましては、2019年3月13日に発表いたしました通期の業績予想を据え置きとしております。

当社グループは、下半期の売上及び利益の比重が高いこともあり、今後の業績推移をより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,672,750	8,064,885
受取手形及び売掛金	339,911	290,037
テナント未収入金	1,323,544	1,214,165
商品及び製品	368,281	372,838
原材料及び貯蔵品	44,009	38,010
未収入金	203,979	188,861
その他	114,539	114,689
貸倒引当金	△2,571	△759
流動資産合計	10,064,444	10,282,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,698,737	3,700,353
減価償却累計額	△1,821,055	△1,844,093
建物及び構築物（純額）	1,877,681	1,856,260
機械装置及び運搬具	421,827	429,008
減価償却累計額	△273,551	△288,664
機械装置及び運搬具（純額）	148,275	140,343
土地	527,407	527,407
その他	1,791,311	1,849,807
減価償却累計額	△1,326,228	△1,370,417
その他（純額）	465,083	479,390
減損損失累計額	△513,531	△462,636
有形固定資産合計	2,504,917	2,540,764
無形固定資産	109,508	111,084
投資その他の資産		
投資有価証券	1,947,378	1,949,225
長期貸付金	67,031	61,685
退職給付に係る資産	122,038	120,173
繰延税金資産	130,660	133,713
敷金及び保証金	1,101,147	1,067,647
その他	36,300	32,905
貸倒引当金	△13,857	△13,857
投資その他の資産合計	3,390,698	3,351,494
固定資産合計	6,005,124	6,003,342
資産合計	16,069,569	16,286,073

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,659,870	1,685,816
未払金	321,248	380,256
未払法人税等	229,683	156,660
賞与引当金	70,538	108,913
その他	544,130	580,577
流動負債合計	2,825,471	2,912,224
固定負債		
退職給付に係る負債	36,545	39,567
役員退職慰労引当金	62,537	64,517
資産除去債務	266,064	264,411
その他	75,992	78,837
固定負債合計	441,140	447,334
負債合計	3,266,612	3,359,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	11,363,360	11,529,974
自己株式	△576,698	△576,698
株主資本合計	12,645,360	12,811,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,153	93,530
退職給付に係る調整累計額	20,443	21,007
その他の包括利益累計額合計	157,596	114,538
純資産合計	12,802,957	12,926,513
負債純資産合計	16,069,569	16,286,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	14,751,198	14,539,457
売上原価	8,840,315	8,692,027
売上総利益	5,910,883	5,847,430
販売費及び一般管理費	5,391,891	5,425,717
営業利益	518,991	421,712
営業外収益		
受取利息	464	493
受取配当金	1,039	1,086
持分法による投資利益	—	39,323
家賃収入	12,453	5,206
協賛金収入	26,807	23,222
受取手数料	5,191	479
その他	7,051	13,068
営業外収益合計	53,008	82,880
営業外費用		
支払利息	26	40
不動産賃貸原価	4,620	161
持分法による投資損失	33,780	—
その他	124	377
営業外費用合計	38,551	579
経常利益	533,447	504,013
特別利益		
受取補償金	—	31,200
補助金収入	13,145	—
店舗売却益	6,742	—
特別利益合計	19,887	31,200
特別損失		
有形固定資産除却損	10,473	7,969
減損損失	50,060	9,597
店舗閉鎖損失	8,921	1,904
固定資産圧縮損	9,048	—
特別損失合計	78,503	19,471
税金等調整前四半期純利益	474,832	515,742
法人税、住民税及び事業税	207,032	189,387
法人税等調整額	△6,414	△2,288
法人税等合計	200,618	187,098
四半期純利益	274,214	328,643
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,214	328,643

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	274,214	328,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,644	6,916
退職給付に係る調整額	△1,351	△169
持分法適用会社に対する持分相当額	19,183	△49,804
その他の包括利益合計	39,476	△43,058
四半期包括利益	313,690	285,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,690	285,585



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	474,832	515,742
減価償却費	216,145	219,608
減損損失	50,060	9,597
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△244	△1,812
受取利息及び受取配当金	△1,503	△1,580
支払利息	26	40
持分法による投資損益(△は益)	33,780	△39,323
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,793	△345
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,526	2,951
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,442	38,374
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	792	1,980
有形固定資産除却損	10,473	7,969
固定資産圧縮損	9,048	—
受取補償金	—	△31,200
補助金収入	△13,145	—
店舗売却益	△6,742	—
売上債権の増減額(△は増加)	153,484	159,252
たな卸資産の増減額(△は増加)	△862	1,440
仕入債務の増減額(△は減少)	31,444	25,946
その他	23,169	56,837
小計	1,029,523	965,478
利息及び配当金の受取額	1,503	1,580
利息の支払額	△26	△40
法人税等の支払額	△235,012	△260,714
補償金の受取額	—	31,200
補助金の受取額	13,145	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	809,133	737,504
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△391,557	△188,220
無形固定資産の取得による支出	△3,428	△7,449
投資有価証券の取得による支出	△466	△507
長期貸付金の回収による収入	4,482	7,025
資産除去債務の履行による支出	△21,865	△21,328
敷金及び保証金の差入による支出	△92,759	△5,135
敷金及び保証金の回収による収入	44,678	37,134
その他	1,068	△4,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459,849	316,803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△163,129	△162,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,129	△162,171
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	186,155	892,135
現金及び現金同等物の期首残高	6,592,071	6,872,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,778,226	7,764,885

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年2月1日 至2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,814,676	3,936,522	14,751,198	—	14,751,198
セグメント間の内部売上高又は 振替高	28,092	27,064	55,156	△55,156	—
計	10,842,768	3,963,587	14,806,355	△55,156	14,751,198
セグメント利益	536,919	134,067	670,987	△151,995	518,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△151,995千円は、セグメント間取引消去△25,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△126,603千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」45,224千円、「外食業」4,835千円です。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,455,256	4,084,200	14,539,457	—	14,539,457
セグメント間の内部売上高又は 振替高	41,892	25,830	67,722	△67,722	—
計	10,497,148	4,110,030	14,607,179	△67,722	14,539,457
セグメント利益	423,185	158,774	581,960	△160,247	421,712

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,247千円は、セグメント間取引消去△39,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,055千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」6,232千円、「外食業」3,365千円です。